

学年：1年	単元名：15. どちらがひろい
-------	-----------------

1. 単元目標：(全1時間)

○面積の比較などの活動を通して、面積とその測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの面積について任意単位などにより比較する力を養うとともに、面積についての感覚を豊かにし日常生活に活用しようとする態度を養う。

考判表・具体的な操作を通して、広さの概念を作る。

- ・面積をまずで考えることができる。

知・技・直接比較や任意単位による測定によって、面積を比べることができる。

- ・面積についての基礎的な意味や比較の方法を理解する。

2. 指導内容

- ・面積の概念
- ・面積の比較(直接比較、陣取りでの数値化による比較)

3. 指導のポイント

○直接比較から間接比較へ。そして、任意単位による間接測定へ。

- ・「比較する」場合、「ほぼ同じ量」というのが前提になる。
「見てもわからない」または、「見てもわかりにくい」量を比較する。
- ・直接比較から間接比較へ移行するとき、すぐに任意単位による間接測定へ行ってしまいう傾向にあるので注意が必要。
- ・任意単位による間接測定のよさを理解することが大切。
- ・直接比較、間接比較→「どちらがどうである」
- ・任意単位による間接測定→「どちらがどれだけどうである」

(広さ)

- ・広さに関する用語を理解させる。(広い・せまい・ひろさ)
- ・動作化などをしながら広さの概念をつくる。
- ・広さの間接比較は、ほとんど使わない。
- ・広さの任意単位による測定を具体的場面を通して行う。

4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

第1時

学習のめあて（作業・知る・考える）
〇ひろさをくらべよう。（P106/107）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握</p> <p>T:みなさん「海」という歌を知っていますか？→C:知ってる。 T:では歌ってみましょう。→C:海は 広いな 大きいな・・・♪ T:そうですね。今日は、その「広いな」の勉強をします。 T:「広さ」とはどういうことですか？説明しましょう。 C:(いろいろな説明をさせる。言葉？動作？絵？) ※最終的に動作でおさえる。 その時に「広い」「狭い」など広さに関する用語もおさえる。 たとえば、T:運動場は？→C:ひろい T:トイレは？→C:せまい T:教室は？→C:？ T:運動場より→C:せまい T:トイレより→C:ひろい T:では、今から広さを比べます。 T:(2枚の紙を出して)どちらが、広いでしょう？ C:(広いほうを示して)こっち T:どうしてですか？説明しましょう。 C:重ねるとわかる。 T:こうですか。なるほど、こっちの方が広いですね。 T:P106②をみましょう。広い順はわかりますか。 C:す→さ→し T:みなさん、よくわかったので、次は、じんとりあそびをしようとおもいます。 じゃんけんて勝ったら口を1つぬります。ぬったところが広いほうが勝ちです。ではやってみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広さの概念 ・「ひろい・せまい」は、相対的な言葉である事をおさえる。 ・用紙配布または師範 ・直接比較 ・広さの場合間接比較は、やりにくい。
<p>2. 自力解決・学びあい</p> <p>※じゃんけんゲームをする。 T:面白かったですか。どちらが、勝ちましたか。 C(それぞれが、いう。) T:どうして勝った事がわかるのですか？ C:口の数を数えて、多いほうが広いということがわかります。 ※口が同じ広さであることも確認したい。 T:いくら勝ったかもわかりますか。→C:わかる。 T:新しい広さの比べ方が、わかりましたよ。どうするのですか？ C(子どもの言葉で、発表させる。) T:では、P107③をみましょう。どちらが広いですか。→C:ち T:どうしてですか。→C:ちのほうが、タイルが1枚多いから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・任意単位による間接測定
<p>3. まとめ・ふりかえり</p> <p>T:では、「広さ」比べについてまとめます。 1. 広さとは、こうすること。(動作化) 2. 広さを比べる方法 ①直接、重ねる。 ②口の数を数え、そのいくつかで比べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「広さ」の概念と直接比較、任意単位による間接測定についてまとめる。